

2023年度第63回日本建築学会九州支部研究発表会 研究報告執筆要領

一般社団法人 日本建築学会九州支部

1. **支部所定の原稿書式**で研究発表者が書いた投稿原稿（PDFファイル）は、そのままPDF版「日本建築学会研究報告九州支部第63号・日本建築学会九州支部建築デザイン発表梗概第5号」に収録します。CD-ROM版については、2022年度をもって廃止しました。
2. **原稿書式**は、第1頁書式、第2・3頁書式、第4頁書式の3種、合計4頁で、ワードプロセッサ等の使用を原則とします。
3. 文字は黒色としてください。また、ワードプロセッサ等によって若干の差がありますので、上マージン30mm、下マージン20mm、左右マージン20mm、本文は2段組とし1段を幅82mm（段の間隔6mm）に設定、第1頁は1,584字（24字×33行×2段）、第2～3頁は1,968字（24字×41行×2段）、第4頁は1,824字（24字×38行×2段）の字数を守り作成して下さい。図表や写真等についてはカラーでも構いません。

4. 記載方法

(1) 【第1頁上段】和文表題・氏名等の記載方法

- ・「表題」、「会員種別」、「発表者氏名」を本文より大きく書いて下さい。
- ・「表題」は第1行の中央に、「会員種別」および「発表者氏名」（連名の場合は口頭発表者を筆頭に記し、その名前の前に○印を付ける）は第3行目から右側に寄せて書いて下さい。その下の行に左寄せにて全国大会の部門—細分類に準じた「発表部門」の「分野—細分類」を番号とともに記入して下さい（発表登録および発表申込書に記載のものと同じものを記入して下さい）。さらにその右に発表分野の希望を示した「講演分野」を材料・施工／構造／環境工学／建築計画／都市計画／建築歴史・意匠の6分野から選択して記入して下さい。その下には和文でキーワードを最大5つまで記入し、第7行目から本文を書いて下さい。

(2) 【第1頁下段】欧文表題・氏名等の記載方法

- ・記載欄と本文の間に罫線を引く。
- ・欧文表題および欧文発表者氏名の順に記入する。
- ・欧文表題は左づめに、欧文発表者名は右づめで記入する。
- ・欧文発表者名はローマ字で姓・名の順に記入し、姓は大文字とする。
- ・欧文表題・氏名等の記入方法は、下記の例による。

Study on Urban Planning in Modern America ← (表題:左づめ)

(講演発表者氏名:右づめ) → SUZUKI Ichiro, SATO Keiko and YANO Shinji

(3) 【第4頁下段】和文所属および欧文所属の記載方法

- ・記載欄と本文の間に罫線を引く。
- ・発表者の勤務先・職名・学位等を記入する。
- ・和文所属は左側に、欧文所属は右側によせ頭を揃えて書く。
- ・和文所属および欧文所属の記入方法は、下記の例による。

*1 九州支部大学准教授・工博 Assoc. Prof., University of AIJ Kyushu Branch, Dr. Eng.

*2 九州支部大学大学院修士課程 Graduate School, University of AIJ Kyushu Branch

(4) 研究報告原稿と発表登録の「表題」、「会員種別」、「発表者名」等が異なる場合は、採択されませんのでご注意ください。